

株式会社山陰合同銀行は鳥取営業本部ビルの空調機を電気(EHP)+ガス(GHP)を併用したハイブリッド空調へ更新するほか、同ビル及び一部拠点の営業にかかる電力を再生可能エネルギー由来電力へ切り替えます。これにより、鳥取営業本部ビルの電力消費に伴うCO2排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和5年11月～令和8年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を32.5%向上することを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

鳥取営業本部ビルの空調機を電気(EHP)+ガス(GHP)を併用したハイブリッド空調へ更新するほか、同ビル及び一部拠点の営業にかかる電力を再生可能エネルギー由来電力へ切り替えることにより、炭素生産性の向上を図る。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組内容のイメージ>



<鳥取営業本部ビル>